

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人四ツ葉会 ほっぷあっぷ		公表日		令和7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・お子さんの特性に合わせた環境設定をしています。また、人数に対して適切なスペースを確保しています。	・今後もお子さんの特性に合わせ、安心して過ごせるように、安全で快適な環境設定をしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・基準配置を満たしており、サービスを提供できる体制は整っています。	・基準配置は満たしていますが、人手不足を感じることがあります。R7年度に向けて人材確保に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・お子さんの特性に合わせて、パーティションを使用して個別スペースを確保したり、イラストや写真を提示して構造化しています。	・お子さんの特性に合わせて過ごしやすい環境を作っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日の掃除や月に1回の安全点検など、清潔な環境作りを心掛けています。また、使ったものは整理整頓し、使わなくなったものは処分するなどしています。	・今後も毎日の清掃+フィルター掃除や玩具の消毒浸けなど、衛生面に配慮していきます。また、加湿や除湿などを季節に合わせて調整します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・「クールダウンがしたい」「1人で遊びを完結させたい」など、お子さんに合わせて個別スペースを設けています。	・お子さんがいつでも個別スペースを利用できるように常に開放しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・朝礼や終礼、利用児が退所した後の振り返りの時間を設け、お子さんの目標設定と振り返りを実施しています。	・目標と振り返りなど、職員で共有したことは、すぐに実践するように努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・事業所評価アンケートを通して、保護者様の率直な意見を聞くことができています。	・アンケートに記入して頂いたご意見を職員で共有しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員会議や振り返りの際に、職員から意見を伝えあうことで様々な角度から改善に努めています。	・よりよい支援に繋がるよう、職員が意見を伝えあうことのできる環境を作っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・相談支援専門員やこども園などの関係機関からの見学を受け入れることで、評価を受けています。	・外部からの評価を受けることで、業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・法人内外の研修に参加しています。全職員が研修を受けることができるようにしています。	・法人内の研修はもちろんのこと、自己研鑽として各自で学んでいます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・支援プログラムについては、3月に公表しています。	・3月に公表していますので、ご確認ください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントを行い、保護者のニーズと子どもの発達に合わせた支援計画を立てています。	・保護者様の思いを大切にしながら、課題となる点を共有し、一緒に支援していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・児童発達支援管理責任者だけではなく、職員全員でアセスメントや評価を行っています。	・様々な角度から評価を行い、質の高い支援を目指していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・支援計画に沿って活動の内容を設定し、支援しています。	・活動の内容によって個々のねらいが変わるため、職員が目や養えるような研修に参加します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・事業所内での太田ステージや遠城寺式発達検査等の評価と、医療機関での田中ビネーやWISC等の検査を基にアセスメントを行っています。	・今後も標準化されたアセスメントツールを使用していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・アセスメントの結果や保護者様のニーズから、支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を作成し、具体的な支援内容を記載しています。	・具体的な支援方法を保護者様にお伝えする際に、使用するツールや道具などを実際に見てもらうことで課題を共有しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・週替わりで担当職員が活動プログラムを考え、前週には職員に共有しています。	・統一した支援ができるよう、共有する時間を大切にしています。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・様々な角度から支援できるよう、研修や園訪問で得たヒントを基に活動を工夫しています。	・研修や園訪問、自己研鑽等でヒントを得て、固定化されないように考えていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・課題やプランに応じて、個別活動や集団活動を組み合わせています。個別活動では、箸やハサミの持ち方などの微細面、集団活動では、ルールのある遊びやコミュニケーション面などに取り組んでいます。	・保護者様の思いを大切にしながら、課題となる点を共有し、園や家庭で般化できるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・朝礼の際（支援開始前）に、週の主がその日の各役割を伝達し、その日の流れを説明して連携して支援しています。	・前日までには役割の確認をしています。今後も連携を大切にしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・支援終了後、振り返りを行い、気付きや課題を共有しています。	・支援の改善点や保護者からの相談等、職員間で意見交換することで、柔軟な考え方を身につけていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・シンプルケースソフト（アプリ）に支援記録を残しています。個別課題は、用紙に記入し、「おべんきょう」ファイルに挟み、保護者様と共有をしています。また、提供状況と改善点を話し合う際に使用しています。	・小さな出来事でも記録をとることを徹底し、検証や改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・達成した課題や新しい課題、保護者様からの要望があった場合には、必要性を判断して見直しを行っています。	・見直しの必要性を感じたときには、所属園や保護者様のご意見をお聞きし、一緒に考えていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・児童発達支援管理責任者が参画しています。	・より良い支援のため、相談支援専門員との繋がりを大切にしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・所属園や保健師など、関係機関と情報共有をしています。	・支援する上で関係機関との連携が大切であるため、関係を築いていきたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・就園先へ訪問させて頂いたり、ほっぷあつぷの療育を就園先の先生に見学して頂くことで、情報共有と相互理解を図っています。	・園訪問に行かせて頂く際、支援計画書を所属園に提出し、所属園の担任の先生と情報共有をしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・小学校へ訪問させて頂くことで、就学前に必要なスキルの共有をし、就学したお子さんの現状を確認させて頂いています。	・療育終了児の予後を確認します。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			—	—
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			—	—
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			—	—
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			—	—
	31	(31は、事業所のみ回答)			・同法人の児童発達支援センターや専門機関との連携・情報共有を行い、助言を受けています。	・法人内の他事業所へ実習に行く機会を増やしていきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	・就園先と並行利用のため、就園先で交流してもらっています。また、地域のお祭りやクリスマス会などの行事に参加することで、他事業所の子どもと活動する機会があります。	・事業所としての関わりは少ないため、所属園で関りを大切にしたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・送迎時や連絡帳アプリ等を使用し、療育内容や達成状況をお話させて頂き、課題について共有しています。	・支援内容と方法などをお伝えさせて頂き、共通理解を持っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・保護者様からの困り感をお聞きし、事業所内で取り組んでいることや家庭でも般化できるポイントをお伝えしています。また、研修などのお知らせは玄関に貼りだしています。	・個々に合った支援の方法をお伝えさせて頂いています。

保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時に管理者が説明をし、同意を得ています。	・分かりやすく説明することを心がけています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・支援計画を作成するにあたって、保護者様に「要望書」へ記入して頂き、それを基に意向をお聞きしています。	・ご家族や本人の思いを尊重した支援ができるようにしていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・約30分の懇談を設定し、支援計画に沿ってお話をさせて頂いています。目標と支援内容など、具体的にお伝えしています。	・日頃から支援の内容や課題などの共有をしています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・送迎時や連絡帳アプリ内で対応をしています。個別配慮が必要な場合には、事業所内相談を活用しながら相談に応じています。	・子育ての悩みや、家庭環境のことなど幅広く相談しやすい環境を作っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	・保護者会は就園先で参加して頂いています。 ・保護者様が交流する機会は、就学に向けた座談会を開催し、保護者同士が関わる機会を設けています。	・今後も保護者様に要望をお聞きし、企画・開催をします。その中で、保護者同士が関わる機会を増やしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・苦情窓口や相談窓口を設定し、申し入れがあった場合には、管理者が主導となって会議の設定や解決策を保護者様へ報告しています。	・迅速に対応できるよう、日頃から職員間での情報を共有しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・月初に通信を発行し、療育内容や様子を伝達しています。また、週に1回ホームページを更新し、療育内容を掲載しています。 ・個人的にお伝えさせて頂くこと（懇談日やお願い等）については、個別のファイルに閉じたり、連絡帳アプリ内で発信しています。	・保護者様が見て分かりやすいような通信を作成していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報等は、鍵のかかるロッカーへ保管しています。	・鍵のかかるロッカーの施錠の確認をしています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・言葉だけではなく視覚的に分かりやすいよう、実物や実演での説明を心がけたり、連絡帳アプリで注意喚起するなど、各家庭に応じた対策をしています。	・保護者様が遠慮なく話せる関係性を築いていきます。
非 常 時 等 の 対 応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	・地域の方が、季節の行事（夏祭り・クリスマス会等）の企画をしてくださり、参加しています。その他、散歩活動への誘導なども快く引き受けてくださっています。	・地域の方に事業所を知って頂く機会になっています。今後も地域の方との繋がりを大切にしていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・毎年マニュアルを点検し、必要に応じて書面にて配布しています。 ・月に1回、あらゆる災害を想定して避難訓練を実施しています。	・そのときの状況に応じて、書面にて配布します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・BCPを策定し、非常災害の発生に備えて、月に1回の避難訓練を実施しています。備蓄品などの確認は、半年に1回行っています。その他、不審者対応訓練も実施しています。	・備蓄品は、どこに何があるのか職員が把握しています。避難訓練では、「震度4」「大規模火災」など、様々な状況を想定して取り組んでいます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・契約時に既往歴をお聞きし、カルテに記入して頂いています。対応方法や服薬の状況も随時確認させて頂いています。	・日々の健康状態を体調チェック表に記入して頂き、確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	—	—	・契約時に、アレルギーの有無について確認し、利用者カルテの「アレルギーに関する項目」に記入して頂いています。現在、食物アレルギーのお子さんはいません。	・アレルギーのお子さんの対応については、2名以上の職員が配膳の確認を行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を作成しています。 ・安全管理に必要な研修（法人内）を受けています。 ・緊急時に備えてAEDを設置し、研修を受けています。	・今後も安全に必要な研修や点検・訓練を徹底します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・SOS連絡票を職員と保護者で作成し、万が一利用児が行方不明になった場合に使用します。また、災害時には契約時に避難場所等をお伝えしています。	・SOS連絡票は、半年に1回更新しています。

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット・インシデントが発生した際には、職員間で再発防止のための話し合いを実施しています。再発防止策を、アプリ内に記録しています。	・再発しないよう職員の意識を高めたり、ヒヤリに気付ける目を養っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待に関する研修に参加しています。また、虐待防止委員による「虐待防止チェックリスト」を参考に、職員間で毎月話し合いをしています。	・お子さんの日々の様子を観察したり、チェックリストを活用して虐待防止に努めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・全職員に身体拘束について指導し、保護者には契約時に説明、同意書を取っています。やむを得ない場合には、保護者様に報告しアプリ内に記録を残しています。	・やむを得ない場合には、保護者様に状況説明を具体的に行い、今後の支援方法を検討します。